



2017年度 日本医科大学 一般入学試験

I

- 問1 ア 原腸 イ 肝小葉 ウ け エ さ オ こ カ あ キ か
問2 新口動物 あ い お か
問3 あ え
問4 (あ) オ (い) なし (う) エ (え) ウ (お) オ
問5 い か
問6 (1) お (2) b d
問7 A群 い え あ か き
B群 a a g e c
問8 (1) 胃の上皮: か 筋組織: え
(2) 胃の上皮: b e 筋組織: a g
問9 い え お

II

- 問1 ア い イ き ウ グルコース
問2 折線 A: エ い オ い
折線 C: エ え オ か
問3 基質特異性
問4 あ お
問5 い お

III

- 問1 い お
問2 D
問3 あ
問4 あ う
問5 う d
問6 う e

ステロイドホルモン D は細胞膜の受容体に結合することで細胞質に存在する酵素の活性を変化させ卵成熟を促すとともに、細胞内部の受容体に結合することで遺伝子 T の転写を促進していると考えられる。

- 問7 あ c



2017年度 日本医科大学 一般入学試験

【 講 評 】

- ・大問Ⅰ，Ⅱは、しっかりと得点しておきたい。正解をすべて選ぶ問題で多少差が付いたと思われる。大問Ⅲは例年通り全体像の掴みにくい実験考察問題であった。仮説を立て、実験結果と照らし合わせながら検証する力が問われている。
- ・ホルモンをテーマとした考察問題については、ビッグバンのレギュラー授業でも扱っている。基礎事項をしっかり積み重ねた受験生にとっては、解きやすいものであった。
- ・大問Ⅲの考察問題は、例年難度が高い。意識した対策が求められる。

Ⅰ. 動物生理	やや易
知識を問う問題が中心であり、内容は平易であった。肝臓の構造についての知識は細かいものであったが、医学部受験生であれば各器官の構造については理解を深めておきたい。	
Ⅱ. 酵素と反応速度	やや易
酵素反応速度のグラフを解釈する問題で差がついたであろう。生成物の量や基質を分解しきるまでの時間を考慮すれば正解に至れる。	
Ⅲ. ステロイドホルモンと卵成熟	やや難
実験考察問題が中心であり、序盤でミスリードしてしまうと大きな失点になってしまったであろう。例年、同様な実験考察問題が出されるので、それに合わせた実践的な演習をしておく必要がある。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・昭和大・近畿大・日本医科大・大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276